

目白学園 広報誌

学校法人 目白学園

目白大学大学院

目白大学

目白大学短期大学部

桐 kiri

目白の森から風便り

第9号
通算107号
2007.03

Special issue

留学の醍醐味は、現地でしか得られない体験を通して成長を実感すること

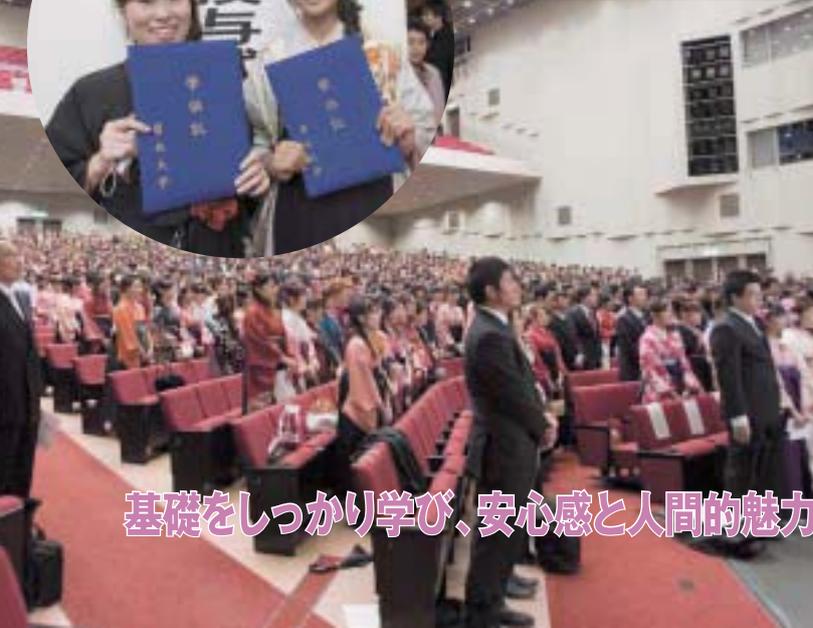
韓国・中国・オーストラリアへの留学生に聞く

「メジ☆スタ」リーダー座談会

大学生活の楽しさを自分たちの声で伝えたい

そんな気持ちが引き継がれる学生ボランティア活動

平成18年度 目白大学 学位授与式
目白大学短期大学部



目白探訪
新宿キャンパス5号館
—新校舎への改築をひかえて—
学園インフォメーション

輝く目白の星

基礎をしっかりと学び、安心感と人間的魅力を感じてもらえる理学療法士を目指します

保健医療学部 理学療法学科3年 白瀧 善一君

海外で学ぶが目大生の声

留学の醍醐味は、現地です！ 成長が得られない 体験を通して成長を実感すること

あらゆる分野でグローバルな視点が求められる現在、好奇心や吸収力の旺盛な学生時代に海外生活を体験することは大変有意義なことです。目白大学では、協定留学、認定留学、渡学留学という3種類の留学制度を用意し、「海外で学びたい」という学生の想いをサポートしています。また、外国学部では、一定期間海外の協定校で学ぶカリキュラムを導入。異なる学びの環境や文化に接して得た貴重な経験を3人の経験者に語ってもらいました。

韓国/延世大学校

「語学はもちろん、その国の『当たり前』を学ぶのが留学です」

私はこの3月まで韓国の私立大学の校中で最も歴史が古く、教育水準が高いと評価を受けている延世大学校に留学していました。目白大学の韓国語専攻の学生は、原則として全員が2年次に1年間以上の交換留学をします。しかも学費は無料。私は1年間でしたが、二重学位取得(※)のため2年間留学する仲間も多くいます。留学に踏み出すのは簡単ではありませんが、目白大学はそれをとっても身近なものにしてくれました。



私が韓国語に興味を持ったのは、韓国のドラマや映画、音楽の中でのセリフや歌詞をそのまま理解したいと思ったのがきっかけです。それで、韓国語専攻のある目白大学にどうしようも入学したいと思

人が勉強するのがいいし自分もその影響を受けていました。試験を受けた時期には図書館で空いた席を探すのにひと苦勞。これまでの人生でいちばん勉強した時期だったかも。滞在しているのは怖い付きの学生下宿(ハウス)です。気さくで親切な管理の



大学での授業の様子

おばさんのつくろい、おいしい野菜料理を、下宿生みんなでもまるで家族のように集まっていただきます。チゲなどのスーパ類はみんなが同じ器からとるんですよ。箸も扁平な金属でできていて、テーブルの上に縦に置くのが習慣です。その他にも小さな違いがたくさん。日常の当たり前”が違うことがおもしろくて仕方ありません。最初はびっくりしましたが、しばらく経つと、自分も気がつかないうちに地元の人と同じようにやっていました。言葉で説明できないその国の常識を体感することが、留学の意義だと気づきました。将来は通訳などの仕事につけたら、いろいろな面でこの経験が生きてくると思っています。

野口 由香
のぐち
外国語部アジア語学科
韓国語専攻3年

1年次の2月、臨時研修として1カ月間、中国の北京大学に留学してきました。1年間授業で学んだフレーズを復習して、海外で使える携帯電話も準備して、いざ出発。北京はどこまでも広大で、様々な国からの留学生で溢れ、とてもエネルギッシュでグローバルな印象でした。万里の長城や故宮などの世界遺産を見て回っていると、今さらながらに中国という国の大きさと歴史の豊かさを実感し、圧倒されることもしばしばでした。

一番苦労したのは、やはり中国語が通じないことでした。文法的な間違いはなく発音の問題でした。食堂で食べ物を注文する、地下鉄やバスで行き先を告げるなど、生活に密着した場面では最初の1週間は苦戦の連続。常に電子辞書を持ち歩いて、正しい発音をチェックするようになりました。大学の先生方は標準語で話されますが、町の人たちは訛りもあるし、話すスピードも手加減なしですからね。それでも、中国語をしゃべらなければ生きていけない生活をしていると少しずつコツ



寮料も町並みが生徒空間に

オーストラリア/サンシャインコースト大学

「未体験への挑戦が、自分の成長につながります」

平成18年の秋から冬にかけての約15週間、オーストラリアの東部にあるサンシャインコースト大学に語学留学しました。まず目を見張ったのが、溢れんばかりの自然でした。学内の至る所にカンガルーが遊んでいるし、ホームステイした家の周りでは野鳥やフクロギョウなどの珍しい動物の姿が日常の風景に溶け込んでいるんです。それに、私の



日本では見られないキャンパス風景

ホストマザーは精神的に私を連れ出し、様々なオーストラリアを体験させてくれました。野生鯨の潮吹きを間近で見たり、止まない流れ星に感動したり、熱帯雨林を探索したり…。実は英語力の向上に加えて、現地の人や大学と一緒に英語を学ぶ他国の人々に触れて、文化や生活習慣の違いを比べてみたいという目的もあったので、短い期間に中身の濃い経験をさせてくれたホストマザーには、心から感謝しています。



ホストファミリー

生活面だけではなく、大学でも初体験のことはかりました。1クラスは20人前後で、



保谷 亜季さん
ほしや ありき
外国語部
英米語学科3年

この留学で、何事においてもチャレンジしてみることが大切だということをもっと学びました。留学前と比べると、自立し、世界も広がり、積極的に行動できるようなったことは、今後様々な場面で自分の支えになると 생각합니다。

中国/北師大

「発話力」に自信ができました

1年次の2月、臨時研修として1カ月間、中国の北京大学に留学してきました。1年間授業で学んだフレーズを復習して、海外で使える携帯電話も準備して、いざ出発。北京はどこまでも広大で、様々な国からの留学生で溢れ、とてもエネルギッシュでグローバルな印象でした。万里の長城や故宮などの世界遺産を見て回っていると、今さらながらに中国という国の大きさと歴史の豊かさを実感し、圧倒されることもしばしばでした。

一番苦労したのは、やはり中国語が通じないことでした。文法的な間違いはなく発音の問題でした。食堂で食べ物を注文する、地下鉄やバスで行き先を告げるなど、生活に密着した場面では最初の1週間は苦戦の連続。常に電子辞書を持ち歩いて、正しい発音をチェックするようになりました。大学の先生方は標準語で話されますが、町の人たちは訛りもあるし、話すスピードも手加減なしですからね。それでも、中国語をしゃべらなければ生きていけない生活をしていると少しずつコツ



お世話になった先生方や仲間たち

一方、私が学ぶ大学は設備が整っており、先生も親切で熱心でした。滞在していた留学生と回室だったことがとても心強かったです。

一番苦労したのは、やはり中国語が通じないことでした。文法的な間違いはなく発音の問題でした。食堂で食べ物を注文する、地下鉄やバスで行き先を告げるなど、生活に密着した場面では最初の1週間は苦戦の連続。常に電子辞書を持ち歩いて、正しい発音をチェックするようになりました。大学の先生方は標準語で話されますが、町の人たちは訛りもあるし、話すスピードも手加減なしですからね。それでも、中国語をしゃべらなければ生きていけない生活をしていると少しずつコツ



北京文芸専門にて

の留学生と回室だったことがとても心強かったです。

私が韓国語に興味を持ったのは、韓国のドラマや映画、音楽の中でのセリフや歌詞をそのまま理解したいと思ったのがきっかけです。それで、韓国語専攻のある目白大学にどうしようも入学したいと思



高田 正幸君
たかた まさゆき
外国語部アジア語学科
中国語専攻3年

私が韓国語に興味を持ったのは、韓国のドラマや映画、音楽の中でのセリフや歌詞をそのまま理解したいと思ったのがきっかけです。それで、韓国語専攻のある目白大学にどうしようも入学したいと思



卒業証書

※ 韓国語専攻では、協定する韓国の大学で一定期間以上学び単位を修得することで、目白大学と協定先の大学の2つの学位を取得することができ(デュアル・ディグリー制度)。

「メジ☆スタ」リーダー 座談会

大学生の楽しさを自分たちの声で伝えたい そんな気持ちで引き継がれる 学生ボランティア活動

新宿キャンパスを訪れた受験生が最初に接する先輩が、「メジ☆スタ」、受験生をサポートするために学生自らが組織したボランティアグループの通称です。その発足には、目白大学でのキャンパスライフの楽しさを伝えて共有したいという学生ならではの純粋な気持ちがあり、それは現在まで引き継がれています。

歴代総リーダー3名に、それぞれ「メジ☆スタ」経験を語っていただきました。

——まず、「メジ☆スタ」ってなんですか？

柴崎 目白大学入試広報学生スタッフの略称です。私が在学中に思いついた名称なんです。

——学生としてのひらめきが出発点だったんですね。

山崎 そうなんです。「メジ☆スタ」は、受験生に目白大学の良さを生の声で届けたいという気持ちから始まった学生の自発的な組織、つまりボランティアなんです。

——つらくらと思ったきっかけは、どんなことだったのですか？

柴崎 2期生の私が受験したときは、大学の職員の方や当日だけのアルバイト学生がお世話をしてくれました。その時、もう少し学生が主体となると、計画的に大学紹介をしても良いのではないかと気がしたのです。そこで2年次

の1月に、在学生で受験生のサポートをやってみようということとを大学側に議案書として提出し、オーケーをいただいた。その春から活動を始めました。最初は仲間4人、1年限りの活動のつもりだったのですが、募集をかけたら上級生も下級生も参加してくれた。縦のつながりもある30名ほどの組織になったのです。

岡枝 それが続いているので、今年の私で5代目です。今では100名以上のスタッフが在籍しています。

受験生サポートが共通認識

——「メジ☆スタ」は、具体的にどんなことをするのですか？

山崎 受験生や保護者の方に大学を見学していただくオープンキャンパス（年4～5回開催）の企画運営が中心です。

柴崎 キャンパスをどという順番で案内するか、どこにどんな目印を置くかといったことをみんなと相談して決めます。装飾や看板までみんなでするんです。

岡枝 私は去年、2つある班のうち1班「キャンパスツアー

出席者



柴崎 愛実 さん
1997年 東京都
人間社会学部
心理カウンセリング学科
平成16年度卒業
理・人間福祉学科助手
初代総リーダー



山崎 詠一 君
1995年 東京都
人間学部
心理カウンセリング学科4年
第4代総リーダー



岡枝 知恵 さん
1994年 東京都
社会学部
メディア表現学科3年
第5代総リーダー

※平成19年4月、人間社会学部は人間学部と社会学部に分割・改編されました。

班（CT班）」で班のリーダーをしました。CT班とは、4つの校舎を受験生や保護者に案内する役目です。先輩が作ってくれたマニュアルがあるので、それを伝えただけでは興味を持ってもらえないので、授業内容や自分が知っている情報をアドリブで加えながら説明します。

山崎 もう一つの班である「オープンキャンパス班（OC班）」は、オープンキャンパスに來られた方々がスムーズに見学できるように、何日かけてポスターや案内板を準備します。受験生へはなるべくフランクに話しかけ、親御さんへはユーモアを

交えながらも言葉遣いに気を付けて…。

柴崎 元気がいい受験生にかしこま

ってしゃべってもうち解けてくれないね。「メジ☆スタ」のメンバーは、授業ではなかなか学べないコミュニケーション能力が自然と身につくようになっていく。それが、

さらに、総リーダーには、スタッフの得意分野を考慮しながら仕事を割り振ったり、適所に配置したりするための判断力と決断力も必要かな。人見知りだった人がすばらしいリーダーシップを発揮したり、「メジ☆スタ」の中でたくさん友達を作ったり、普段はもの静かなのにイベント当日はすごく積極的になったり、ということがあるんです。クラブ活動とは違って、受験生サポートという目的意識が明確で共通しているからかもしれません。

悩んだ分だけ充実感を味わう

「メジ☆スタ」をやっていると、得難い経験だと思つたことは何ですか？

岡枝 私は小さいときからリーダーという役目は無縁だったんです。だから去年CT班のリーダーになった時、みんながついてきてくれるのか、自分にまともなリーダーにならばいらないのかなど悩ま



でもそう簡単には変わられません。自分自身分だと思つてきました。そして、みんなもそんな私を支えてくれました。1年経って、仲間から「岡枝が班のリーダーで良かった、楽しかった」と言ってもらえた時には、初めて自分が認められたような気がして、本当に嬉しかったです。

山崎 僕は受験生の時「メジ☆スタ」にお世話になったのですが、入学後その時の先輩にお会いしたら、その先輩も僕のことを覚えてくれていたんです。それで僕も「メジ☆スタ」になったのですが、



今回は僕がオープンキャンパスの時に会った受験生が入学して「メジ☆スタ」に入ってくれた。それが嬉しかったですね。お世話した受験生が楽しそうに学生生活を送っているのを見ると、やっていた良かったと思います。

柴崎 私たちの時は特に形づくりの段階だったので、大変でした。「メジ☆スタ」

内部の決めごとだけでなく、外部とも何度も話し合う機会を持ちました。教職員の視点ではなく、学生の生の声を伝えたいという私たちの想いを入試広報課が尊重して、あたたかく見守りつつサポートしてくださったのでここまで続けられてきたのだと思います。大変でしたが、だからこそ先輩たちと励まし合いながらすごしていく信頼関係を結ぶことができました。



楽しさを伝えたい
最後に、
皆さんはどんな気持ちで「メジ☆スタ」を続けているのか聞かせてください。

岡枝 私は受験生としてこの大学を訪れて、「メジ☆スタ」の人に会って初めて「ああ、この大学にしよう」と決めたんです。こんなに楽しんでいる人がいるのならこの大学にしよう。今度は私が楽しんでいる姿を受験生に伝えられたら良いなと思っています。

山崎 大好きな目白大学を知ってもらいたい。こんな環境で、こんなおもしろい学生生活というノンプレッシャーだけではわからないところを僕たち自身も楽しみなから、明るく笑顔で伝えたいですね。

柴崎 「メジ☆スタ」に会いに来て、大学に興味を持ち、好きになってもらう。そんな人たちが入学して大学生生活を楽しんでくれれば、私たちの大学がもっともって良くなる。そんな想いを受け継いでいる今の「メジ☆スタ」の姿を見てみると、とても嬉しく思います。

学生スタッフたち

新宿キャンパスの「メジ☆スタ」には、健康・医療系キャンパスへ移行しつつある岩槻キャンパスでも活動しています。オープンキャンパスや入試広報のイベント時にももちろん、日常の大学生活でも活躍しています。現在、登録者数は100名を超えています。



特に、健康・医療系キャンパスへ移行しつつある岩槻キャンパスでは、保健医療学部、看護学部の学生が多く占める環境です。在籍しているのは、大抵は変換機が存在する中で、学生スタッフに対する評価は、両学部の評価に直接つながることにもなります。目白大学の新しい時代を一緒に作っていく未来の後輩たちのために、岩槻キャンパスの学生スタッフは、将来の言葉になるかもしれない大事な情報です。の合同で一緒に頑張っています。

最近、よく耳にするようになった「理学療法」という言葉。脳梗塞に見舞われた長嶋茂雄・読売ジャイアンツ終身名誉監督が、足を多少引きずりながらもファンの前に元気な姿を現すことができるようになったのも、この理学療法のおかげであることは知る人ぞ知るところです。解剖学や生理学などの医学的知識に加えて、身体機能の改善のための治療技術の習得などが要求される、高度に専門的な分野。今春3年生になる白瀧君は、これを学ぶ理学療法学科の第1期生です。「20歳前後の仲間が多い中、僕は26歳なんです」と、この職業を選ぶことにした転機となる出来事を語ってくれました。

痛みを伴う自らの体験から、この道を選択

「高校を中退した後、調理師の免許を取って創作和食の料理人を目指すかわら、ボクシングのプロにもなろうと思って練習していたのです。ところが過度の走り込みにより、膝関節を故障してしまいました。「手術をすれば、術後はもう運動ができなくなる」と言われて悩んだ末、スポーツ疾患専門の病院に行ったら、手術しても完治は見込めないが、理学療法なら状態は今以上に良くなると説明を受けました。実際に治療を受けてみたところ、組織的には完治を望めませんでしたが、膝を過度に動かしても痛みを伴わなくなったので、理学療法士の技術の高さに驚きを感じ、理学療法士への転職を決意しました」。

それから大検の準備、同時に志望校の絞り込みを始めました。まだ医科大学以外にこの学部・学科があるのは数校にすぎないという状況の中、目白大学に出願する際、大学の先生と面談をする機会に恵まれたそうです。そこで先生の話が目白に決める決定打になったとのこと。「理学療法士という仕事の内容、将来性、病院の中のポジションなどをありのままに教えてくださいました。いいことばかりではない、厳しいところも……。それがかえって、本当にプロフェッ

ショナルだなと感じました」。

入学してみて、自分の判断に狂いはなかったことを実感したといます。最新の検査機器、治療器具などを中心として理学療法を学ぶ上で不可欠な設備の充実度はすばらしく、講師陣の質の高さも期待以上。恵まれた環境の中で、基礎学問の習得に励んでいます。

やる気を出してもらえ、自分自身の方法を見つけたい

基礎科目の履修を終えた3,4年では、安全管理、職場管理といったより実的な科目に加え、それぞれ3週間、8週間程度の病院での実習も待っています。ここでは、実際に患者さんを担当する総合的な実習も含まれるとか。「僕らが1期生ですから、この100人が大学で学んだ後とだけ国家試験に合格し、理学療法士として良い仕事ができるかは、後輩の意欲にも影響します」。

目指すは、「患者さんに安心される理学療法士です。安心されるということは、まず基本的なことを確実にこなせること。その上で患者さん一人ひとりの性格まで把握し、考慮し、その人のやる気を出させるような方法を理学療法士自らが考え出さなければならないと思います。『あなたの現在の状態はこうで、こういう治療が必要で、こういう結果が出せますよ』という一連のプロセス(評価)をきちんとわかってもらえるように説明ができなければ納得してもらえません」。

現在は根拠に基づいた医療 (EBM=evidence based Medicine)



の手法が重視されており、治療法の根拠をはっきりさせ、患者さんに正しく適用し、結果を出していかなければなりません。基本をしっかり学び、そこから枝葉をのぼして、細分化している理学療法分野をオールマイティにこなせるようになりたいですね」。

今は「基礎の勉強でいっぱい、いっぱい」と語る白瀧君ですが、得意の料理を活かした飲食店でアルバイトやサーフィン部の立ち上げなど、学業以外でも活動的。志を同じくした仲間との切磋琢磨や社会勉強を兼ねた課外活動など、充実した大学生活を送っています。



輝く目白の星

基礎をしっかりと学び、安心感と人間的魅力を感じてもらえる理学療法士を目指します

保健医療学部 理学療法学科3年
白瀧 善一君

しらすき ぜんいち